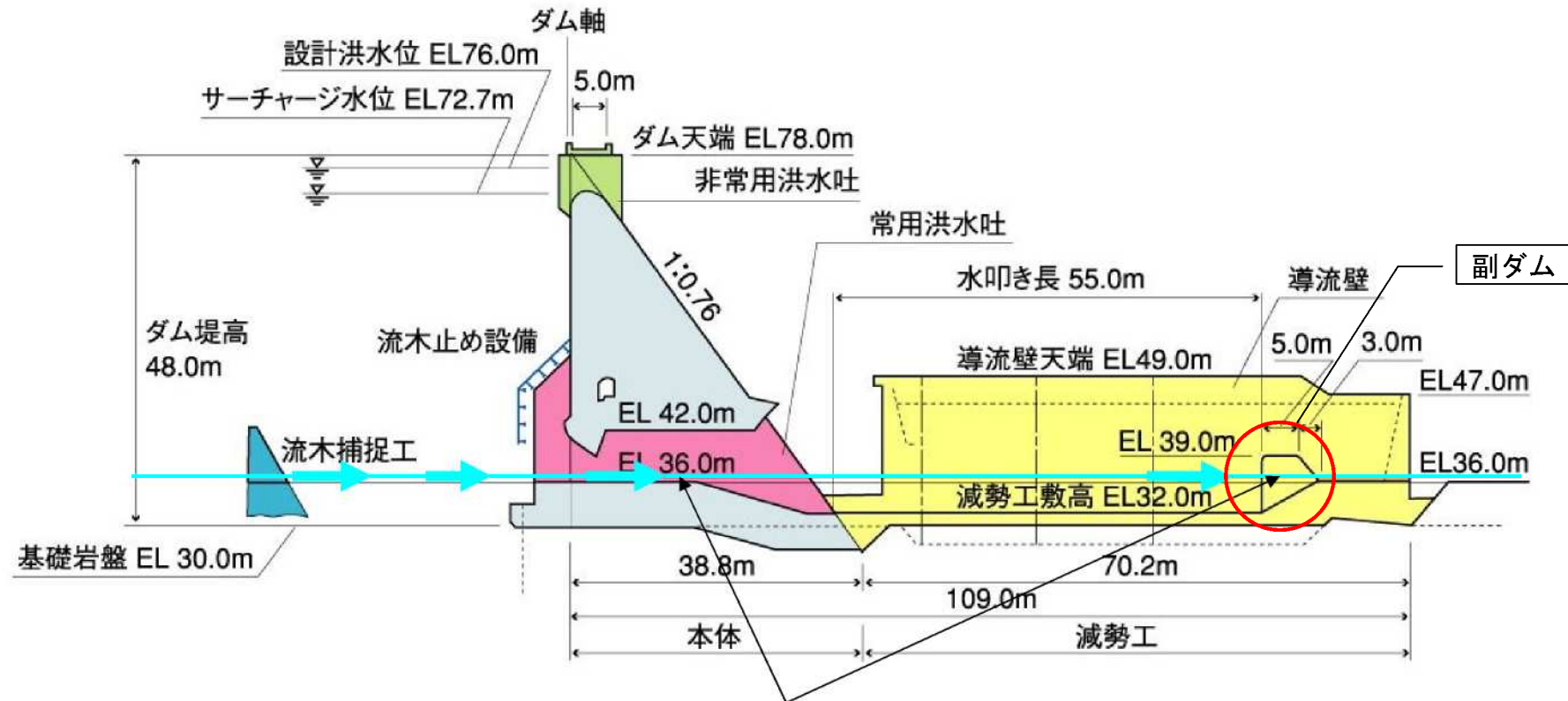


益田川ダムQ & A Q 1 ダム上下流の連続性

Q 1 : 益田川ダムの上下流の連続性について

A 1 : 益田川ダムは常用洪水吐きを河床に配置するとともに排砂機能確保のため副ダムに幅1mのスリットを設けています。
これにより、貯留型ダムと比べダムの上下流の連続性が保たれています。



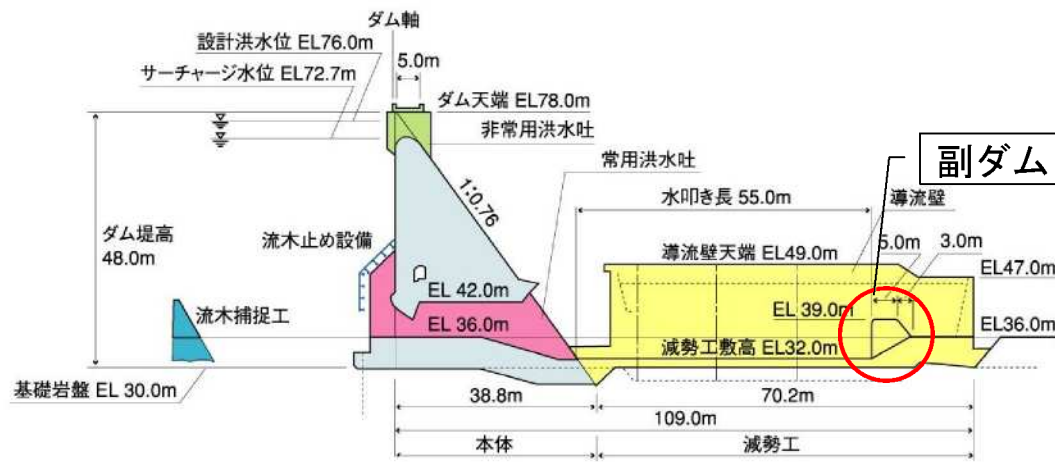
ダムの上流と下流で高低差がないことから河川の連続性が保たれています。

■副ダム部の構造

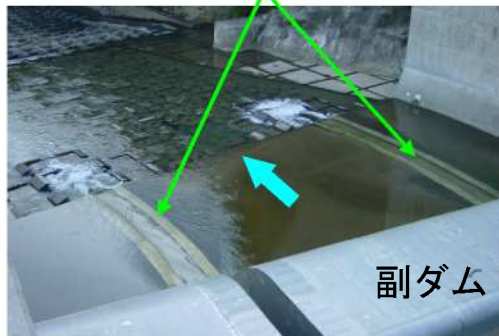
益田川ダムには、排砂機能確保のため副ダムに幅1mのスリットを2条設けており、その下流には

- ①排砂効果の向上
- ②魚類などの上下流の移動

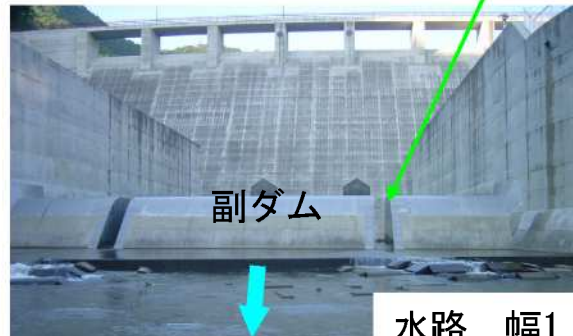
を考慮した、幅1m×高さ30cmの水路を配置しています。



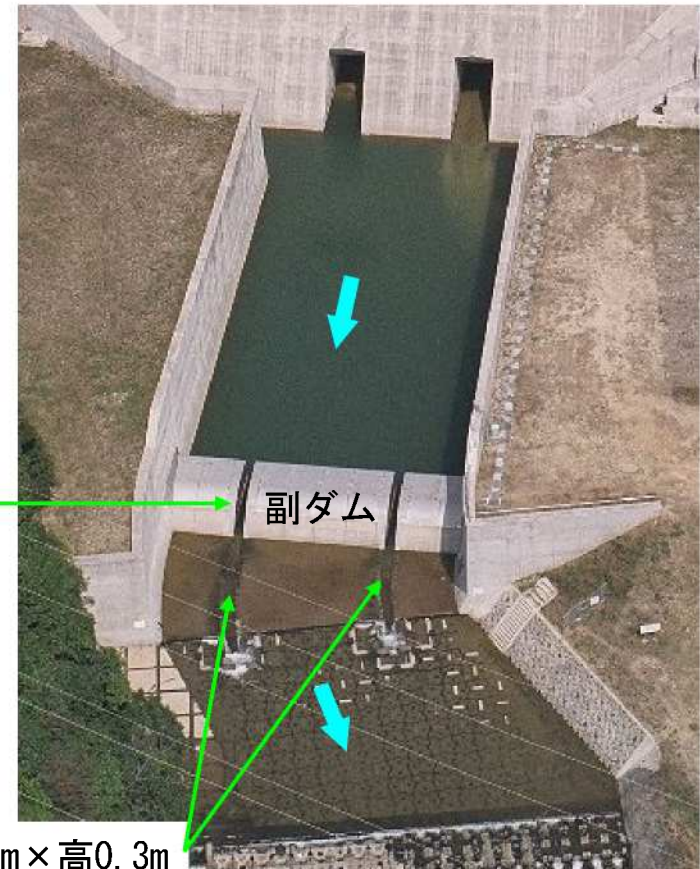
水路 幅1.0m×高0.3m



スリット 幅1.0m



水路 幅1.0m×高0.3m



■アユの遡上（平成20年度調査結果）

平成20年8月に行った調査において、ダムサイトより上流でアユの個体及び「はみあと」を確認しました。これにより、既往調査結果も踏まえ、ダムより上流部にアユが遡上していると判断しています。

■アユの遡上（平成20年度調査結果）



平成18・19年度「はみあと」調査結果

ダムサイトより上流約2kmまで「はみあと」を確認しました。

確認地点No.② 「はみあと」がついていた石



確認地点No.⑥ 「はみあと」

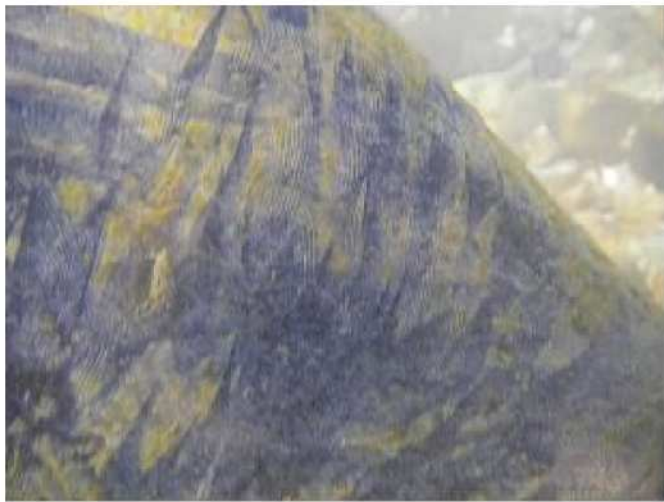


表-5.2(1) アユの「はみあと」確認状況

確認地点No.	確認位置	確認時季	確認状況
①	益田川ダム湛水域	夏季	調査範囲で最大のM型淵の淵頭の右岸際の石1個に「はみあと」がついていた。
②		夏季	R型淵のかけあがりの石1個に「はみあと」がついていた。
③		夏季	平瀬の岸際の岩盤1枚に「はみあと」がついていた。
④		夏季	平瀬の石1個に「はみあと」がついていた。
⑤		夏季	平瀬の瀬頭の石1個に「はみあと」がついていた。
⑥		秋季	平瀬の石2個に「はみあと」がついていた。
⑦	益田川ダム直下護床工の部分である。	夏季	粗石付きブロックの粗石2個に「はみあと」がついていた。移動経路把握調査時に確認したものである。
A (エリア)	益田川ダム下流部 護床工下流部から益田川調査範囲最下流部までの部分である。	夏季・秋季	このエリアは全域に点々と「はみあと」がある。特に護床工下流部とダムサイト下流部の堰下流側はほとんどの石に「はみあと」がついている状態であった。